

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	企業は4月以降、採用活動から実際に内定を出す期間に移り、学生が自己の就職先を決定する1年となる、本科目では、個々の学生の就職活動状況の把握する。個別の希望業界の求人票斡旋、キャリアセンター情報の伝達、自己分析、履歴書添削、面接対策を実施。	キャリアガイドブック、参考資料	《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。デザイン業界の企業や職種を把握し、実際の就職活動前に自分の進路を決定する。自己分析を進め、各種応募方法を学び対策する。	【専門知識スキル】:卒業後の希望進路について深く考え、就職活動する。内定を獲得することができる。 【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、実行力。(詳細は、各講の「当授業でのターゲット社会人基礎力」部分参照)。就職活動を通して、自己に不足している力を見つけ、対応できる力を養う。	【受講ルール等】:1、学生状況に応じて、資料配布は参考資料等をコピーして配布 2、課題提出は担任が改修、翌授業で必要があれば学生へ返却 【評価の観点】:1、必要出席率(80%)を満たしていること 2、授業参加態度が良好であること 3、課題の提出結果が基準点に達しており、認(認定)であること 【その他】:3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施 【評価項目(評価の方法)】:平常点(授業受講姿勢など)、課題評価、出席率。ただし出席率80%に満たない場合、および必要課題が提出できない場合は単位不認定とする。		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	就職活動状況の自己棚卸 企業研究、採用のポイント/春休み活動把握	春休みの就職活動の棚卸 企業サイトの見るべきポイント、何を調べるか、どこを見るかを知る	就職に向けた自己棚卸を行う、春休み中の活動のまとめを行う、エントリー社数を報告する。企業SNSやHPから情報を読み解き、採用試験に活用する	傾聴力、主体性、計画力	【授業運営方法】:講義 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具		
2	活動状況把握、エントリーシート、履歴書作成/志望動機以外の項目の見直し/春休み活動把握	面談実施、冬季インターンシップ体験を踏まえた就職先の選択、エントリー	エントリーシートや履歴書など応募書類を完成させる。	傾聴力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
3	活動状況把握、エントリーシート、履歴書作成/志望動機以外の項目の見直し/春休み活動把握	面談実施、冬季インターンシップ体験を踏まえた就職先の選択、エントリー	エントリーシートや履歴書など応募書類を完成させる。	傾聴力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
4	活動状況把握/未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う/未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリアセンターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	書類選考に通る為の企業ごとの特性を踏まえたポートフォリオを作成する	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料、ポートフォリオ		
5	活動状況把握/未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う/未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリアセンターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
6	活動状況把握/未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う/未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリアセンターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
7	活動状況把握/未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う/未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリアセンターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
8	活動状況把握/未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う/未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリアセンターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
9	活動状況把握/未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う/未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリアセンターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
10	活動状況把握/未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う/未内定者担任面談	個別面談実施、未活動者はキャリアセンターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		

## 25年度\_前期\_TSD\_総合デザイン\_3年\_就職研究 I .xlsx

11	活動状況把握／未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリアセンターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
12	活動状況把握／未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリアセンターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
13	活動状況把握／未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリアセンターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
14	活動状況把握／未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリアセンターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
15	活動状況把握／未内定者は5名程度にグルーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリアセンターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	企業は4月以降、採用活動から実際に内定を出す期間に移り、学生が自己の就職先を決定する1年となる 本科目では、個々の学生の就職活動状況の把握する。個別の希望業界の求人票斡旋、キャリアセンター情報の伝達、自己分析、履歴書添削、面接対策を実施。	キャリアガイドブック 参考資料	《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界実務経験がある教員が担当する。デザイン業界の企業や職種を把握し、実際の就職活動前に自分の進路を決定する。自己分析を進め、各種応募方法を学び対策する。	【専門知識スキル】:卒業後の希望進路について深く考え、就職活動する。内定を獲得することができる。【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、実行力。(詳細は、各講の「当授業でのターゲット社会人基礎力」部分参照)。就職活動を通して、自己に不足している力を見つけ、対応できる力を養う。	【受講ルール等】:1、学生状況に応じて、資料配布は参考資料等をコピーして配布 2、課題提出は担任が改修、翌授業が必要があれば学生へ返却【評価の観点】:1、必要出席率(80%)を満たしていること 2、授業参加態度が良好であること 3、課題の提出結果が基準点に達しており、認(認定)であること【その他】:3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施【評価項目(評価の方法)】:平常点(授業受講姿勢など)、課題評価、出席率。ただし出席率80%に満たない場合、および必要課題が提出できない場合は単位不認定とする。		
実施 回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
2	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
3	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
4	[PROGテスト実施]就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	[PROGテスト実施]一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	[PROGテスト実施]内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
5	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談 CG2名キャリアセンターで活動	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
6	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		

7	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
8	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
9	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
10	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
11	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
12	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
13	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
14	就職内定者・・・内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者・・・企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
15	授業を振り返って	就職活動を振り返って自分が得たことと今後の展望をディスカッション。	自分自身が苦勞したことを今後の社会人活動に活かす。	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	建築基準法をはじめとする建築関連法規の学習をする。	教科書、プリント配布	《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。建築物には、法律によって様々な制約が定められている。実際の建築物のデザインを行うにあたって必要となる建築関連法規に関する基礎知識を習得する。実際の生産にあたって企画・設計・施工を理解した上でマネジメントすることが重要であり、その基礎知識を習得する。	【専門知識スキル】 建築基準法の意義、基礎的な法文、法律用語の意味や意義などを理解できるようになること。【社会人基礎力】1. 考え抜く力 2. 前に踏み出す力(主体性) 3. チームで働く力(傾聴力)	【受講ルール等】テーマごとに必要な資料プリントを配布する。【評価の観点】内容理解について【その他】:3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】平常点(授業受講姿勢など)/課題評価/出席率但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明。建築デザインと建築法規について。建築基準法の基本定義	1. 建築基準法とはBASIC1	授業の目的、内容を十分理解する	1. 考え抜く力(想像力) 2. 前に踏み出す力(主体性) 3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】教科書を利用する他、動画教材やテストを適宜行う<持参物>教科書、筆記用具、ノート		
2	科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明。建築デザインと建築法規について。建築基準法の基本定義	1. 建築基準法とはBASIC2	〃	〃	〃		
3	建築基準法のしくみ・用語の定義	法令の種類や形式、用語を理解する 令2条、法別表第I、令1条、令107条~109条の3、令115条の3	〃	〃	〃		
4	面積・高さ等の算定方法(1) 確認申請・手続等、一般構造規定	法令の種類や形式、用語を理解する 令2条、法6条~18条、法85条、87条、88条、令137条の18、138条、146条、法19条、法28条~33条、令19条~35条、令129条の2の5	〃	〃	〃		
5	面積・高さ等の算定方法(2) 確認申請・手続等、一般構造規定	法令の種類や形式、用語を理解する 令2条、法6条~18条、法85条、87条、88条、令137条の18、138条、146条、法19条、法28条~33条、令19条~35条、令129条の2の5	〃	〃	〃		
6	構造強度、大規模建築物、法22条区域内、特殊建築物、防火地域、準防火地域(1)	法令の種類や形式、用語を理解する 法20条、法21条、令36条~99条、法22条~法27条、法61条~66条、法別表第1、令115条の3	〃	〃	〃		
7	構造強度、大規模建築物、法22条区域内、特殊建築物、防火地域、準防火地域(2)	法令の種類や形式、用語を理解する 法20条、法21条、令36条~99条、法22条~法27条、法61条~66条、法別表第1、令115条の3	〃	〃	〃		

8	防火区画、内装制限、避難施設等(1)	法令の種類や形式、用語を理解する 法35条の3、令111条～114条、法35条の2、例128条の3の2～128条の5、法35条、令116条の2～128条の2、令128条の6～129条の2	〃	〃	〃		
9	防火区画、内装制限、避難施設等(2)	法令の種類や形式、用語を理解する 法35条の3、令111条～114条、法35条の2、例128条の3の2～128条の5、法35条、令116条の2～128条の2、令128条の6～129条の2	〃	〃	〃		
10	道路・壁面、用途地域、容積率(1)	法令の種類や形式、用語を理解する 法41条の2～47条、法68条の9、令144条の4、法48条～51条、法別表第2、令130条の3～130条の9の8、法52条、令135条の18、令135条の19	〃	〃	〃		
11	道路・壁面、用途地域、容積率(2)	法令の種類や形式、用語を理解する 法41条の2～47条、法68条の9、令144条の4、法48条～51条、法別表第2、令130条の3～130条の9の8、法52条、令135条の18、令135条の19	〃	〃	〃		
12	建ぺい率、高さ制限(1)	法令の種類や形式、用語を理解する 法53条、令135条の20、21、法55条～56条2、法別表第3・同4、令130条の11～135条の13	〃	〃	〃		
13	建ぺい率、高さ制限(2)	法令の種類や形式、用語を理解する 法53条、令135条の20、21、法55条～56条2、法別表第3・同4、令130条の11～135条の13	〃	〃	〃		
14	統括総まとめ	確認テスト	〃	〃	〃		
15	統括総まとめ	全体復習	〃	〃	〃		

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	「建築構造」建築物の構成について知り、建築計画の参考とする。「材料」建築物の仕組みや材料についてを知り、建築計画における参考とする。	BASICテキスト構造、よくわかる力学演習テキスト	《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。建築構造、建築物とはどのようなものなのだろうか。どのように構成され、各部がどのような働きをもつのかを理解する。材料、建築物はどのような材料をどのように組み合わせ、どのような方法でつくられていくのかを知る。	【専門知識スキル】【社会人基礎力】1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【受講ルール等】テーマごとに必要な資料プリントを配布する。【評価の観点】【その他】3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】平常点(授業受講姿勢など)/出席率(但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない)		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	序章 力学を学ぶ上での基本事項	力学を学ぶにあたって・力とは・力のモーメント・力の合成と分解	力学を学ぶにあたって・力とは・力のモーメント・力の合成と分解の内容を映像・小テストにより理解する	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】講義形式<学生持参物>ノート、筆記用具、教科書		
2	序章 力学を学ぶ上での基本事項 第1章 静定構造物の反力	力のつり合い・構造物の骨組の種類と表示・荷重と反力・骨組の安定と不安定、静定と不静定・静定構造物の反力・片持ち梁の反力	力のつり合い・構造物の骨組の種類と表示・荷重と反力・骨組の安定と不安定、静定と不静定・静定構造物の反力・片持ち梁の反力を理解する	〃	〃		
3	第1章 静定構造物の反力	単純梁の反力・静定ラーメンの反力	単純梁の反力・静定ラーメンの反力の内容を映像・小テストにより理解する	〃	〃		
4	第2章 静定構造物の反力	応力とは・集中荷重が作用する静定梁の応力	応力とは・集中荷重が作用する静定梁の応力の内容を映像・小テストにより理解する	〃	〃		
5	第2章 静定構造物の反力	その他の加重が作用する静定梁の応力・静定ラーメンの応力	その他の加重が作用する静定梁の応力・静定ラーメンの応力の内容を映像・小テストにより理解する	〃	〃		
6	第2章 静定構造物の反力	静定ラーメンの応力	静定ラーメンの応力の内容を映像・小テストにより理解する	〃	〃		
7	第3章 静定トラスの応力	トラスの構造と応力・トラス応力の性質・トラス応力解析法の基礎事項	トラスの構造と応力・トラス応力の性質・トラス応力解析法の基礎事項の内容を映像・小テストにより理解する	〃	〃		
8	第3章 静定トラスの応力	節点法・切断法	節点法・切断法の内容を映像・小テストにより理解する	〃	〃		
9	第3章 静定トラスの応力 第4章 断面の性質と応力度	切断法・断面の性質とは・断面の性質を示す主な係数	切断法・断面の性質とは・断面の性質を示す主な係数の内容を映像・小テストにより理解する	〃	〃		
10	第4章 断面の性質と応力度	断面一次モーメント・断面二次モーメント	断面一次モーメント・断面二次モーメントの内容を映像・小テストにより理解する	〃	〃		

11	第4章 断面の性質と応力度	断面係数・断面二次半径・応力度と許容応力度	断面係数・断面二次半径・応力度と許容応力度の内容を映像・小テストにより理解する	〃	〃		
12	第4章 断面の性質と応力度	応力度と許容応力度・座屈	応力度と許容応力度・座屈の内容を映像・小テストにより理解する	〃	〃		
13	第5章 変形と不静定構造物	部材の変形	部材の変形の内容を映像・小テストにより理解する	〃	〃		
14	第5章 変形と不静定構造物	不静定構造物・不静定梁・分割モーメントと到達モーメント	不静定構造物・不静定梁・分割モーメントと到達モーメントの内容を映像・小テストにより理解する	〃	〃		
15	第5章 変形と不静定構造物	分割モーメントと到達モーメント・不静定ラーメン	分割モーメントと到達モーメント・不静定ラーメンの内容を映像・小テストにより理解する	〃	〃		

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	地域の歴史や文化、地場産業など幅広くリサーチし、それを踏まえた上でのインテリアの空間(住空間・商空間)を提案し、図面、パース、模型、パネルに仕上げていく力を習得する。卒業制作のテーマに沿って、それぞれの学生が自分が制作した作品を社会へ提案をする力を身につける。	特になし	《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。各自設定したテーマに対してどのような空間・建築物を想定するか・具体的な事例リサーチおよび研究・敷地の設定および情報収集・配置計画、プラン計画など計画に基づいたプランニング・空間の独自性、魅力を具体的設計にどのようにもこんでいくか・製図、模型制作、CGパースなど具体的な表現、プレゼンテーション作業	・社会的な客観性、デザイナーとしての独自の視点や提案などをもとに空間や建築物を提案する能力を持つこと。・製図、パース等による表現技術(ベクターワークス、スケッチアップ、ツインモーション、ルミオン、イラストレーターなどPCソフト)の習得、あわせてプレゼンパネルにおけるレイアウトデザインテクニック	【評価の観点・方法】平常点(授業姿勢など)、課題評価(コンセプト・完成度・表現力など)、出席率(但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない。)		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	テーマ及び敷地の再確認	テーマ及び敷地を再確認しその問題点を洗い出す。テーマの問題点を早い段階で発見し軌道修正を行う。選定した敷地、提案しようとしている物の規模、それらが適したものであるかどうか	授業の目的を理解する。事例研究、コンセプト確認	主体性、実行力、想像力、課題発見力、計画力	【授業運営方法】アクティブラーニング【持参物】スケッチブック、敷地図、敷地写真等。筆記用具、ノートパソコン他必要だと思う資料		
2	〃	〃	〃	〃	〃		
3	〃	〃	〃	〃	〃		
4	テーマ及び敷地の決定	設計主旨、建物概要の決定。大まかな設計ボリューム、配置計画、プラン等の方向性を考える。提案しようとしている空間イメージのラフスケッチ、手描き図面を進める	作品の方向性の確定	〃	〃		
5	〃	〃	〃	〃	〃		
6	〃	〃	〃	〃	〃		
7	ラフ案チェック	選定した敷地に対する計画性、規模の確認。敷地周辺状況との動線、機能上の確認。スタディ模型を製作	具体的な案への落とし込み	〃	〃		
8	〃	〃	〃	〃	〃		
9	〃	〃	〃	〃	〃		
10	〃	〃	〃	〃	〃		
11	〃	〃	〃	〃	〃		
12	中間プレゼンテーションエスキスチェック	提案を具体的なレベルに上げて行く。コンセプトを元にデザインが進められているか確認。建物用途に則した平面計画はできているか、適切に空間の規模を抑えられているか。魅力的な空間創造に繋がるような断面計画などデザインのベース造りを進める	計画内容の確認。ボリュームチェック	〃	〃		
13	ラフ案チェック	選定した敷地に対する計画性、規模の確認。敷地周辺状況との動線、機能上の確認。スタディ模型を製作	具体的な案への落とし込み	〃	〃		
14	中間プレゼンテーション準備	中間プレゼンテーションに向けて、スライド資料制作、発表練習を行う	計画性を持って準備を行う	〃	〃		
15	中間プレゼンテーションエスキスチェック	提案を具体的なレベルに上げて行く。コンセプトを元にデザインが進められているか確認。建物用途に則した平面計画はできているか、適切に空間の規模を抑えられているか。魅力的な空間創造に繋がるような断面計画などデザインのベース造りを進める	〃	〃	〃		
16	〃	〃	〃	〃	〃		
17	中間プレゼンテーション準備	中間プレゼンテーションに向けて、スライド資料制作、発表練習を行う	計画性を持って準備を行う	〃	〃		
18	〃	〃	〃	〃	〃		

19	//	//	//	//	//		
20	中間プレゼンテーション	各種図面、スケッチ(スタディ模型)、手描きパース等と1人5~7分ほどの口頭説明を行い提案発表を行う。講評、質疑を受けて計画内容の訂正すべき箇所を確認していく	現計画案の発表および確認	//	【授業運営方法】中間発表【持参物】筆記用具、ノートパソコン他必要だと思う資料	スライドデータ	
21	中間プレゼンテーション後の訂正	中間発表で確認できた問題点等をふまえて提案内容の再設定を行う	提案内容のレベルアップ	//	【授業運営方法】アクティブラーニング【持参物】スケッチブック、敷地図、敷地写真等。筆記用具、ノートパソコン他必要だと思う資料		
22	//	//	//	//	//		
23	最終プレゼンテーション作業制作	中間発表で確認できた問題点等をふまえて、より提案・デザインの密度を高めていく。図面の製図作業、パースの制作	計画性を持って準備を行う	//	//		
24	//	//	//	//	//		
25	//	//	//	//	//		
26	//	//	//	//	//		
27	//	より提案・デザインの密度を高めていく。図面の製図作業、パースの制作	//	//	//		
28	//	//	//	//	//		
29	//	//	//	//	//		
30	//	//	//	//	//		
31	//	//	//	//	//		
32	模型制作について縮尺、印刷	適切な模型の縮尺を決定するため、縮尺を合わせて印刷し、冬休み中のスケジュール確認を行う	//	//	//	模型の縮尺に合わせた印刷物	
33	//	//	//	//	//		
34	//	//	//	//	//		
35	最終プレゼンテーション制作物チェック	最終プレゼンテーションへの具体的な作業移行	プレゼンテーションへの具体的な作業移行	//	//		
36	//	//	//	//	//		
37	//	//	//	//	//		
38	最終プレゼンテーションスライドデータチェック	最終プレゼンテーションの成果物の確認	//	//	//		
39	//	//	//	//	//		
40	//	//	//	//	//		
41	//	//	//	//	//		
42	最終プレゼンテーションスライドデータ提出	最終プレゼンテーションの発表資料の提出	最終プレゼンテーションの確認	//	//	PDFデータ	
43	模型制作	最終プレゼンテーションの模型制作	//	//	【授業運営方法】模型制作【持参物】筆記用具、ノートパソコン、模型制作道具一式他必要だと思う資料		
44	模型制作	//	//	//	//		
45	模型制作	//	//	//	//		

25年度\_後期\_TSD\_総合デザイン\_3年\_プロジェクト型\_伊藤・馬場・田淵.xlsx

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	総合デザイン学科で身につけた幅広い視点を生かし各コースが協力して産学連携にて課題に取り組む。実社会に出る前にビジネスとマナーを実践し地域貢献と共に福祉について考察する。	各講師に準ずる	《実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。JAあいち豊田様の各事業に対して、デザインアイデア提案を行う。コースが協力して成果物を作成する。	【専門知識スキル】:スケジュール管理能力。/質の高い作品、完成度の高い作品を判別する眼。/チームによる連帯を生かす能力 【社会人基礎力】: ・計画力 ・主体性 ・実行力 ・傾聴力 ・柔軟性 ・状況判断力 ・規律性 ・ストレスコントロール力	【受講ルール等】:専門分野(ビジュアル、CG、インテリア)講師が学生からのリクエストに対し専門性の高いアドバイスを実施/講師個別で判断しにくい状況が生じた場合は申し送りを常に行い、情報共有する【採点基準】:時間的な蓄積を感じる事・出席率・〆切が厳守された課題の提出		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	《9月18日(水)》1.クライアントレクチャー&現地視察。2.科目の狙い講義計画等の説明。3.【第一課題】テーマ作成	提案の対象エリアを定め、どのような魅力を付加するかを考察しテーマを作成する。	グループの力を生かしたテーマを作成できる。他業種で構成されたプロジェクトの運営・管理・情報伝達の理解。	・計画力・主体性・実行力・傾聴力・状況判断力・ストレスコントロール力	【授業運営方法】導入レクチャーの後、各自制作予定の内容をまとめる 【持参物】メモ帳、カメラ(携帯可)、メジャー、学生証他、現地視察に必要なもの	JAあいち豊田様来校	
2	《9月20日(金)》【第一課題】テーマ作成	グループ毎に課題に取り組む。テーマ&コンセプトシート制作	テーマシートを制作できる。(タイトル、成果物)	〃	【授業運営方法】週に二回全コース合同で情報共有を行い、密度を上げる。【持参物】メモ帳、PC		
3	《9月27日(金)》〃	〃	〃	〃	〃		
4	《9月30日(月)》エリア及びテーマ決定	現地での情報を元にプランニングを修正する ・スケジュール制作・役割分担表制作	1.プランニングシートを作成できる。テーマを元に ターゲット、コンセプト、成果物、提供する価値等を立案する。 2.スケジュール表(役割等)	〃	〃		
5	《10月4日(金)》【第二課題】中間プレゼンテーションプランニング作成	テーマに基づきプランニングシートを作成。	〃	〃	〃		
6	《10月7日(月)》〃	〃	〃	〃	〃		
7	《10月11日(金)》〃	〃	〃	〃	〃		
8	《10月18日(金)》中間プレゼンテーション	プランニング内容を発表し、作品の内容についてプレゼンしJAあいち豊田様の意見を聞く	聞き手の立場に立った最適なプレゼンテーションが構成でき、企業様からのアドバイスをプランに繁栄させ修正できる。	・主体性・発信力・傾聴力・状況判断力・ストレスコントロール力	【授業運営方法】アクティブラーニング【持参物】メモ帳、PC、プレゼンツール	JAあいち豊田様来校、中間プレゼンテーション企画書	
9	《10月21日(月)》中間プレゼンテーション後の修正	JAあいち豊田様の意見から変更点をチームで共有する	企業様のアドバイスをグループ毎に共有し、取り入れる	・計画力・主体性・実行力・傾聴力・状況判断力・ストレスコントロール力	【授業運営方法】週に二回全コース合同で情報共有を行い、密度を上げる。【持参物】メモ帳、PC		
10	《10月25日(金)》【第三課題】制作	プランニングに従い制作物の作成を行う。	スケジュール作成が出来る。成果物を担当と工程ごとに時系列で管理・共有する。	〃	〃		
11	《10月28日(月)》〃	〃	〃	〃	〃		

12	《11月1日(金)》	〃	〃	〃	〃		
13	《11月4日(月)》	〃	〃	〃	〃		
14	《11月8日(金)》	〃	〃	〃	〃		
15	《11月11日(月)》	〃	〃	〃	〃		
16	《11月18日(月)》	〃	〃	〃	〃		
17	《11月25日(月)》	〃	〃	〃	〃		
18	《11月29日(金)》	〃	〃	〃	〃		
19	《12月2日(月)》	〃	〃	〃	〃		
20	《12月6日(金)》	〃	〃	〃	〃		
21	《12月9日(月)》	〃	〃	〃	〃		
22	《12月13日(金)》	〃	〃	〃	〃		
23	《12月16日(月)》最終プレゼンテーションの練習	各グループ毎にプレゼン練習を行い最終確認をする。	〃	〃	〃		最終プレゼンテーション企画書(PDFデータ)
24	《12月20日(金)》最終プレゼンテーション	各グループ毎にプレゼンを行い総合力をアピールする。	聞き手の立場に立った最適なプレゼンテーションができる。プレゼン内奥を構成しクライアントに魅力を伝える。	〃	〃	【授業運営方法】アクティブラーニング【持参物】メモ帳、PC、プレゼンツール	JAあいち豊田様来校、最終プレゼンテーション企画書
25	《1月6日(月)》【第四課題】展示物制作	1.修正作業2.卒業制作の展示物作成(B2パネル×2、企画書×1、サンプル(movie)×1式)	第三者に伝わる制作物の作成ができる。展示条件の中でグループの特色を生かした展示。	〃	〃	【授業運営方法】アクティブラーニング【持参物】メモ帳、PC	

26	《1月10日(金)》	〃	〃	〃	〃		
27	《1月17日(金)》	パネル原寸大モノクロプリントのチェック	〃	〃	〃		
28	《1月20日(月)》	〃	〃	〃	〃		
29	《1月24日(金)》展示物最終入稿	1.パネル原寸大モノクロプリントの最終チェック→入稿。2.展示サンプル制作等。	〃	〃	〃	パネルデータ	
30	《1月27日(月)》優秀賞発表及び振り返り	JAあいち豊田様にお越し頂き、優秀賞の発表を行う。振り返りシートの作成。本課題に対しての良かった点、改善したほうが良い点を共有する。	振り返りシートの作成ができる。プロジェクトを振り返りPDCAサイクルを理解する。	〃	〃	JAあいち豊田様 来校	

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
<p>建築・設計を学ぶ者としての応用編。 1.公園管理の新たな事業手法に着目。社会動向に目を向ける。2.公共性、デザイン性、魅力的なショップ選定、空間づくりが求められる「公園施設」を題材に収益施設およびあそび場について、計画・設計・プレゼンテーション力を習得する。3.課題・テーマの社会的背景、計画地の歴史、事例、現状の問題などについて調査・分析を行い、空間・デザインの観点から考えた解決策を提案する力を養う。思考的プロセスの実践。4.提案内容は比較的自由度の高いものとし、感性を養う。</p>	なし。	<p>《建実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。「ダイバーシティ」をテーマに都市公園内にカフェまたは物販店舗・レストラン・インクルーシブなあそび場・園路を計画する。地域の顔となる交流と賑わいの拠点を目指し、文化的価値のある公園全体のデザイン・景観との調和・親和性を考える。1.計画地は再整備され、2023年春にリニューアルオープンした鶴舞公園の正面エリア。2.テーマの社会的背景を理解し、計画地の机上・現地調査・分析を行い、現状の問題を発見。コンセプトメイキングする。3.エスキース、図面、3DCG、模型などを用い空間・デザインを検討する。4.魅せ方・伝え方を意識した制作およびプレゼンテーションを行う。</p>	<p>【専門知識スキル】1.調査、問題発見、解決策の検討、提案までの一連の流れを学び、まとめる力を習得する。2.配置計画・動線計画・空間構成・インテリアにおける総合的なデザイン力の向上。3.図面・パース・模型による空間表現の向上。【社会人基礎力】1.論理的思考力を磨く。2.自発性。3.表現方法(文章化・図式化・レイアウト)の向上。4.プレゼンテーション能力の向上。</p>	<p>【受講ルール等】必要な資料はGoogleドライブ内に格納、プリント配布【評価の観点】1.作品(テーマの理解度、表現、独創性、スケール感、発想力、明快なコンセプト)2.提案までのプロセス(自発性、トライ&amp;エラー)3.プレゼンテーション(説明力、工夫、熱量)【評価項目(評価の方法)】平常点(授業受講姿勢など)、課題評価(コンセプト・完成度・表現力など)、出席率(但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない。)</p>

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	【4/11_塩澤①】「ダイバーシティ(多様性×共存)パーク」 課題の説明、科目のねらいなど説明、机上調査	課題内容、設計条件、用語(ダイバーシティ、Park-PFIなど)、社会的背景、計画地の歴史、公園の最新事例について調査。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
2	【4/14_田淵①】4/15に振替 現地調査:鶴舞公園、事例調査: RAYARD Hisaya-odori Park	まず計画地近くの成功事例を見学。その後計画地にて現地調査を行う。公園全体を把握し、机上調査結果を照合・確認する。問題発見。			【持参物】筆記用具、カメラ、メジャー、机上調査メモ、交通費		
3	【4/18_塩澤②】レポート提出(テーマの理解、鶴舞公園の歴史、事例紹介、現状の問題について)とコンセプト発表	プレゼン形式で発表。一人3~5分程度。発表後はグループディスカッションを行い、より説得力のあるコンセプトに修正。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
4	【4/21_田淵②】VectorMapMakerの使い方	前期及び後期の課題で使用する、都市計画図をインストールできるソフトを身に付ける			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
5	【4/25_塩澤③】計画地の分析	調査から得た情報を基に、計画地を分析する。CADデータを製作、整理する。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
6	【4/28_田淵③】計画地の分析	調査から得た情報を基に、計画地を分析する。CADデータを製作、整理する。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
7	【5/2_塩澤④】エスキース	配置計画・動線計画・平面計画・断面計画と造形を検討する。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		

25年度\_前期\_TSD\_インテリアデザイン\_3年\_インテリアデザインⅢ\_塩澤・田淵.xlsx

8	【5/9_塩澤⑤】4/22に振替 現地調査:鶴舞公園、事例調査: RAYARD Hisaya-odori Park	まず計画地近くの成功事例を見学。 その後計画地にて現地調査を行う。 公園全体を把握し、机上調査結果を 照合・確認する。問題発見。			【持参物】筆記用具、カメラ、メジャー、机上調査メモ、交通費		
9	【5/12_田淵④】エスキース	配置計画・動線計画・平面計画・断面 計画と造形を検討する。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
10	【5/16_塩澤⑥】エスキース	配置計画・動線計画・平面計画・断面 計画と造形を検討する。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
11	【5/19_田淵⑤】エスキース	配置計画・動線計画・平面計画・断面 計画と造形を検討する。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
12	【5/26_田淵⑥】中間発表資料の チェック	中間発表の資料チェックを行う。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
13	【5/30_塩澤⑦】中間発表	プレゼン形式で発表。一人5分。 発表後はグループディスカッションを 行う。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC、発表用 資料		
14	【6/2_田淵⑦】デザインチェック (図面化、パース作成)	中間発表のフィードバック作業。図面 化、3Dモデリングに着手する。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
15	【6/6_塩澤⑧】デザインチェック (図面化、パース作成)	中間発表のフィードバック作業。図面 化、3Dモデリングに着手する。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
16	【6/9_田淵⑧】デザインチェック (図面化、パース作成)	図面化、3Dモデリングを行う。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
17	【6/16_田淵⑨】デザインチェック (図面化、パース作成)	図面化、3Dモデリングを行う。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
18	【6/20_塩澤⑨】デザインチェック (図面化、パース作成)	図面化、3Dモデリングを行う。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
19	【6/23_田淵⑩】デザインチェック (図面化、パース作成)	図面化、3Dモデリングを行う。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
20	【6/27_塩澤⑩】デザインチェック (図面化、パース作成)	図面化、3Dモデリングを行う。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
21	【6/30_田淵⑪】デザインチェック (図面化、パース作成)	図面化、3Dモデリングを行う。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		

22	【7/4_塩澤⑩】デザインチェック (図面化、パース作成)	図面化、3Dモデリングを行う。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
23	【7/7_田淵⑪】デザインチェック (図面化、パース作成)	図面化、3Dモデリングを行う。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
24	【7/11_塩澤⑫】デザインチェック (図面化、パース作成)	図面、パースの最終チェックを行う。 (平面図、立面図、断面図の確認。 3Dモデリング、レンダリングの確認。)			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
25	【7/14_田淵⑬】デザインチェック (図面化、パース作成)	図面、パースの最終チェックを行う。 (平面図、立面図、断面図の確認。 3Dモデリング、レンダリングの確認。)			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
26	【7/18_塩澤⑭】プレゼンテーション資料作成(レイアウト、文章作り)	魅せ方・伝え方を意識したレイアウト構成を行い、プレゼンに必要な要素を確認する。論理的文章を作成する。プレゼン用に図面をブラッシュ			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
27	【7/25_塩澤⑮】プレゼンテーション資料作成(レイアウト、文章作り)	魅せ方・伝え方を意識したレイアウト構成を行い、プレゼンに必要な要素を確認する。論理的文章を作成する。プレゼン用に図面をブラッシュ			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
28	【7/28_田淵⑯】プレゼンテーション資料作成(レイアウト、文章作り)	最終レイアウトの調整。発表の練習。			【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
29	【8/1_塩澤⑰】最終プレゼンテーションと講評、総評	発表と提出。			【持参物】プレゼン資料		
30	【8/4_田淵⑱】他授業のフォロー	他授業のフォローアップ			【持参物】筆記用具、PC		

25年度\_前期\_TSD\_インテリアデザイン\_3年\_ショップデザイン\_櫻井絵里.xlsx

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
<p>・【発想する楽しさ、手法を身につける】 発想力を高めるために、必要な情報収集と整理を繰り返し実践します。その過程でヒントを見つけ出し、新しいアイデアを創出する手法を学びます。</p> <p>・【ショップデザインにおけるディスプレイの役割を学ぶ】 (売り手)と(買い手)それぞれの立場からデザインを検証し、人の記憶に残るデザインとはどのようなモノか、その一部をショーウィンド計画をととして学びます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンシート(プリント) 配布</li> <li>・事例学習 スライド視聴(予定)</li> </ul>	<p>《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(リサーチ&amp;レポート)、(リサーチ &amp; スタディ)、(リサーチ&amp;アイデアラッシュ)を中心に、そこから導き出す解答を、デザインとして形にしていく作業おこないます。</li> <li>・(仮定した)商業施設のショーウィンドにおける与件(設定された条件)のもと、各自に必要な(情報収集～プレゼン用模型制作)まで、実践的な作業をおこないます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身で調査・考察・選択しながらデザインを精査するチカラ養い、社会において即戦力となる個のチカラを身につける。</li> <li>・アイデアラッシュを繰り返し、オリジナリティーの高いデザインを創出する楽しみ方を見つける。</li> <li>・模型制作を通して一つ一つを作業を丁寧に取り組み、手仕事の楽しさと大事さを学ぶ。</li> </ul>	<p>【課題評価】</p> <p>(1.アイデアのオリジナル性)着想までのリサーチ・取りまとめ方 (2.模型の完成度)プランを魅力的に伝える手法とアイデア力</p> <p>【体制】各個人で作業をおこない、都度プレストなどでグループでの意見交換をおこなう。</p> <p>【評価項目(評価の方法)】 平常点(授業受講姿勢など)・課題評価・出席率(但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない) プレゼン欠席は最低評価とする。※病欠除く</p>

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	ショーウィンドウ・ディスプレイについて1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体スケジュールの確認</li> <li>・ショーウィンドウ視察 (名駅)</li> <li>・視察レポート作成</li> </ul>			【持参物】筆記用具 【その他】動きやすい服装		
2	ショーウィンドウ・ディスプレイについて2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題オリエンテーション</li> <li>・ショーウィンドウ視察 (矢場町)</li> <li>・視察レポート作成</li> </ul>			【持参物】筆記用具 【その他】動きやすい服装		
3	アイデアラッシュ1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料収集</li> <li>・アイデアラッシュ</li> <li>・コンセプト立案</li> </ul>			【持参物】筆記用具、スケッチブック、ノートパソコン		
4	アイデアラッシュ2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料収集</li> <li>・アイデアラッシュ</li> <li>・コンセプト立案</li> </ul>			【持参物】筆記用具、スケッチブック、ノートパソコン		
5	中間プレゼン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ・コンセプト 発表</li> <li>・チームプレスト</li> <li>・アイデアブラッシュアップ</li> </ul>			【持参物】筆記用具、スケッチブック、ノートパソコン		
6	プラン作成1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラフ案作成 ラフスケッチ</li> </ul>			【持参物】筆記用具、スケッチブック、ノートパソコン		
7	プラン作成2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面および立面図作成</li> <li>・必要なグラフィック作成 パターン/キャラクター/タイトルロゴ etc</li> </ul>			【持参物】筆記用具、スケッチブック、ノートパソコン		

## 25年度\_前期\_TSD\_インテリアデザイン\_3年\_ショップデザイン\_櫻井絵里.xlsx

8	プラン作成3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面および立面図作成</li> <li>・必要なグラフィック作成</li> <li>・パターン/キャラクター/タイトルロゴ</li> <li>etc</li> </ul>			【持参物】筆記用具、スケッチブック、ノートパソコン		
9	企画書作成1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画書作成</li> <li>・コンセプト等をレイアウト化する。</li> </ul>			【持参物】筆記用具、スケッチブック、ノートパソコン		
10	模型制作1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模型制作 フレーム制作～</li> </ul>			【持参物】筆記用具、スケッチブック、ノートパソコン、模型制作道具一式		
11	模型制作2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模型制作 造作部分制作</li> </ul>			【持参物】筆記用具、スケッチブック、ノートパソコン、模型制作道具一式		
12	模型制作3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模型制作 造作部分制作</li> </ul>			【持参物】筆記用具、スケッチブック、ノートパソコン、模型制作道具一式		
13	企画書作成2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画書作成 ブラッシュアップ</li> <li>・プレゼン準備</li> </ul>			【持参物】筆記用具、スケッチブック、ノートパソコン、模型制作道具一式		
14	プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション</li> <li>・質疑応答</li> </ul>			【持参物】プレゼン資料1式、その他必要なもの		
15	校内展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品展示作業</li> <li>・総評</li> <li>・期限外提出者フォロー/採点なし</li> </ul>			【持参物】筆記用具		

25年度\_前期\_TSD\_インテリアデザイン\_3年\_デジタルプレゼンテーションⅢ\_田淵智子.xlsx

科目のねらい		教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
建築・インテリア設計の基盤となる平面図、断面図、立面図、配置図などの描き方を理解する。就職に有効なポートフォリオの見せ方・表現方法を習得する。Illustrator、Photoshopでの画像編集作業について学習する。		適宜プリント配布	《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。基礎的なデジタル技術をしっかりと身につける必要があります。また、ポートフォリオの添削や2年次課題のブラッシュアップを行う。	【専門知識スキル】1. Illustrator、Photoshop編集の応用力を習得する。2. レイアウト表現の応用力を習得する。【社会人基礎力】1. 考え抜く力(想像力)2. よりよい作品にするための課題を明らかにする力(課題発見力)3. 新しい表現・作品を生み出す力(創造力)	【受講ルール等】どれほど秀作であれ期日に間に合わなければ評価しない。【評価の観点】創作した作品(表現、独創性、スケール感、明快さ等) 1 提案までのプロセス 考え方の明快さ。2 プレゼンテーション(説明のわかりやすさ、工夫、積極性)【評価項目(評価の方法)】平常点(授業受講姿勢など)/課題評価/出席率但し、必要出席率が80%を満たさない場合及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	1. 科目のねらい、到達レベル、講義計画等の説明2. 2年次課題のレイアウトパネル講評、分析3. 先輩のポートフォリオ分析	授業内容の説明。各自の2年次課題について改善点・修正点をレクチャーし、先輩のポートフォリオ事例の解説			【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
2	illustratorにて平面図の着色、図面の縮尺の合わせ方復習	平面図の色塗りを復習、ポートフォリオ作品の選定			【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
3	図面のチェックバック①	2年次課題の図面一式の返却及び添削			【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
4	図面のチェックバック②	2年次課題の図面一式の返却及び添削			【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
5	図面のチェックバック③	2年次課題の図面一式の返却及び添削			【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
6	ポートフォリオ添削①	出力する前の作品の添削。図面のスケール確認、図面の表現方法正誤確認、文章等のチェック			【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
7	ポートフォリオ添削②	出力する前の作品の添削。図面のスケール確認、図面の表現方法正誤確認、文章等のチェック			【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
8	ポートフォリオ添削③	出力する前の作品の添削。図面のスケール確認、図面の表現方法正誤確認、文章等のチェック			【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
9	ポートフォリオ添削④	出力する前の作品の添削。図面のスケール確認、図面の表現方法正誤確認、文章等のチェック			【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
10	ポートフォリオ添削⑤	出力する前の作品の添削。図面のスケール確認、図面の表現方法正誤確認、文章等のチェック			【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		

## 25年度\_前期\_TSD\_インテリアデザイン\_3年\_デジタルプレゼンテーションⅢ\_田淵智子.xlsx

11	ポートフォリオデータの提出	修正したポートフォリオの提出及び他科目の課題の表現技法の魅力をアップするためのフォロー			【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
12	卒業制作研究①	3年次後期課題のテーマ研究等			【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
13	卒業制作研究②	3年次後期課題のテーマ研究等			【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
14	卒業制作研究③	3年次後期課題のテーマ研究等			【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
15	卒業制作研究④	3年次後期課題のテーマ研究等。夏休みの宿題の仮提出			【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	「環境工学」 建築において、快適な環境を実現するための知識として必要な理論について学ぶ。「建築計画」都市計画及び各種建築物に関する空間計画の基礎知識を学ぶ。	プリント配布	《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。「環境工学」住環境の科学的基礎の学習。室内気候全般、空気環境、熱環境・光環境・音環境について人間との関わりを軸に学ぶ。「建築計画」空間計画としての必須条件と、人間の生活・行動に関わる基本的な考え方を踏まえ、各種建築物別に、全体計画及び細部計画にいたるまでの知識を習得する。	【専門知識スキル】建築に求められる環境条件を体系的にとらえて学び、それらを建築の設計・計画に応用し、利用できる能力の習得を目標とする。【社会人基礎力】1. 考え抜く力(創造力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)都市計画や住環境における科学的基礎を理解することで、主体的に行動し、各自に発信しながら、テーマの課題について問題点を見出す能力を身につける。	【受講ルール等】テーマごとに必要な資料プリントを配布する。【評価の観点】テストによる。【その他】:3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】平常点(授業受講姿勢など)/課題評価		
実施 回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明◆温熱4要素 絶対温度、相対温度	1. 科目の狙い、2. 到達レベル、3. 講義計画等の説明、温度と熱移動			【持参物】筆記用具、ノート、テキスト		
2	序章建築計画の概要・第1章計画原論(その1)	屋外環境を理解。代表的な環境問題を学び、空気・日射についての影響を理解する。			【持参物】筆記用具、ノート、テキスト		
3	第2章計画原論(その2)	温熱環境、伝熱・結露、音響、色彩について理解する			【持参物】筆記用具、ノート、テキスト		
4	第3章計画各論(その1)	住宅、店舗、事務所、学校、幼稚園、保育所、図書館、医療施設について理解する			【持参物】筆記用具、ノート、テキスト		
5	第4章計画各論(その2)	さまざまな建築物の面接や細部の寸法などの計画一般と地域計画を理解する			【持参物】筆記用具、ノート、テキスト		
6	第5章建築設備(その1)	換気設備、冷暖房設備、空気調和設備、給水設備、排水・衛生設備を理解する			【持参物】筆記用具、ノート、テキスト		
7	第6章建築設備(その2)	電気設備、照明設備、消火・防災設備を理解する			【持参物】筆記用具、ノート、テキスト		
8	統括総まとめ	確認テスト			【持参物】筆記用具、ノート、テキスト		
9	第1章施工準備及び躯体工事前の工事にはどのようなものがあるか	施工計画・施工管理・地盤調査・仮設工事・土工事・山留め工事・基礎・地業工事			【持参物】筆記用具、ノート、テキスト		
10	第2章躯体工事にはどのようなものがあるか(その1)	鉄筋工事・型枠工事			【持参物】筆記用具、ノート、テキスト		

11	第3章躯体工事にはどのようなものがあるか(その2)	コンクリート工事・補強コンクリートブロック工事			【持参物】筆記用具、ノート、テキスト		
12	第4章躯体工事にはどのようなものがあるか(その3)	鉄骨工事・木工事			【持参物】筆記用具、ノート、テキスト		
13	第5章仕上工事にはどのようなものがあるか(その1)	防水工事・左官工事・塗装工事			【持参物】筆記用具、ノート、テキスト		
14	第6章仕上工事にはどのようなものがあるか(その2)	タイル工事・建具・ガラス工事・内装工事・断熱工事			【持参物】筆記用具、ノート、テキスト		
15	第1章～6章総括	第1章～6章の総括			【持参物】筆記用具、ノート、テキスト		

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	「建築構造」建築物の構成について知り、建築計画の参考とする。「材料」建築物の仕組みや材料についてを知り、建築計画における参考とする。	BASICレジメ よくわかる力学演習テキスト	《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。建築構造、建築物とはどのようなものなのだろうか。どのように構成され、各部がどのような働きをもつのかを理解する。材料、建築物はどのような材料をどのように組み合わせ、どのような方法でつくられていくのかを知る。	【専門知識スキル】【社会人基礎力】1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【受講ルール等】テーマごとに必要な資料プリントを配布する。【評価の観点】【その他】:3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】・平常点(授業受講姿勢など)//出席率但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	序章 建築構造物の概要 第1章 力とは	安全である建築物を学ぶために力(合成・分析・モーメント)・力のつり合い・荷重の状態			【持参物】ノート、筆記用具、教科書		
2	第2章 反力とは	構造物(支店・節点)・反力の求め方・単純梁の反力・片持ち梁の反力・固定ラーメンの反力			【持参物】ノート、筆記用具、教科書		
3	第3章 応力とは	応力の種類・単純梁の応力			【持参物】ノート、筆記用具、教科書		
4	第3章 応力とは	片持ち梁の応力・静定ラーメンラーメンの応力			【持参物】ノート、筆記用具、教科書		
5	第4章 応力とは	静定トラスの応力			【持参物】ノート、筆記用具、教科書		
6	第4章 応力とは	静定トラスの応力			【持参物】ノート、筆記用具、教科書		
7	第5章 構造物の設計とは	構造計画・構造計算			【持参物】ノート、筆記用具、教科書		
8	第5章 構造物の設計とは	構造計画・構造計算			【持参物】ノート、筆記用具、教科書		
9	ベーシックレジメ総括	総括			【持参物】ノート、筆記用具、教科書		
10	序章 力学を学ぶ上での基本事項	力学を学ぶにあたって・力とは・力のモーメント・力の合成と分解			【持参物】ノート、筆記用具、教科書		

11	序章 力学を学ぶ上での基本事項	力のつり合い・構造物の骨組の種類と表示・荷重と反力・骨組の安定と不安定、静定と不静定			【持参物】ノート、筆記用具、教科書		
12	第1章 静定構造物の反力	静定構造物の反力・片持ち梁の反力・単純梁の反力			【持参物】ノート、筆記用具、教科書		
13	第1章 静定構造物の反力	静定ラーメンの反力			【持参物】ノート、筆記用具、教科書		
14	第2章 静定構造物の反力	応力とは・集中荷重が作用する静定梁の応力			【持参物】ノート、筆記用具、教科書		
15	第2章 静定構造物の反力	応力とは・集中荷重が作用する静定梁の応力			【持参物】ノート、筆記用具、教科書		

25年度\_前期\_TSD\_インテリアデザイン\_3年\_住環境デザイン\_鳥居信貴.xlsx

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	本授業はすべて手書きで行う。①実際にある敷地の場所性を読み取り、ラフ図を用いて設計する能力を習得する。②構造、構法についても理解を深める。③建築の基本とされる住居についてスケール感を持った計画を行うことでその後の設計に対する発展を目指す。④今興味のあること、深く知りたいことに対して探求心を持って研究し、それをデザインに昇華させる訓練を行う。	特になし。	《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。戸建て住宅を設計する。写真やその他敷地情報から近隣、地域分析を行いリアリティの高い計画を行い、手書きの図面の作図能力の向上を狙う。また自ら相手に伝えるための要素を考え製作し、最終日に発表を行い講評を受ける。	【専門知識スキル】：課題を読み解き、想像する空間をラフ図という方法でアウトプットを行うことができ、相手に伝えるために必要な要素を主体的に考える力を身につける。【社会人基礎力】：主体性、課題発見力、想像力、柔軟性。	【受講ルール等】指定日時に指定場所へ指定された方法で提出する。【評価の観点】1.授業への取り組み姿勢2.課題作品の完成度3.プレゼンテーション能力【評価項目(評価の方法)】1.平常点(受講姿勢など)2.課題評価(コンセプト・提案力・表現力)3.出席率(但し必要出席率80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位不認定とする。)		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	【授業の説明・課題発表】	本授業の狙い、スケジュール、成績のつけ方、研究する内容についての説明。			【持参物】筆記用具・ノート・PC(研究用)		
2	【各自研究】	各自研究を行い、一人ずつ進捗状況を確認する。		主体性、働きかけ力	【持参物】筆記用具・ノート・PC(研究用)		
3	【中間発表】【スケジュール作成】	研究内容、現段階での研究から導いたコンセプト、選択した敷地の発表と説明。スケジュールを立てる。		主体性、働きかけ力	【持参物】筆記用具・ノート・PC・プレゼン資料		
4	【継続研究・エスキス】	中間発表で見えた課題になどを含めて、継続的に研究を行いながら、エスキスを進めていく。			【持参物】筆記用具・ノート(エスキス用の紙)・PC(研究用)、コンバックス		
5	【継続研究・エスキス】	継続的に研究を行いながら、エスキスを進めていく。			【持参物】筆記用具・ノート(エスキス用の紙)・PC(研究用)、コンバックス		
6	【継続研究・エスキス】	継続的に研究を行いながら、エスキスを進めていく。			【持参物】筆記用具・ノート(エスキス用の紙)・PC(研究用)、コンバックス		
7	【継続研究・エスキス】	継続的に研究を行いながら、エスキスを進めていく。			【持参物】筆記用具・ノート(エスキス用の紙)・PC(研究用)、コンバックス		
8	【継続研究・エスキス】	継続的に研究を行いながら、エスキスを進めていく。			【持参物】筆記用具・ノート(エスキス用の紙)・PC(研究用)、コンバックス		
9	【継続研究・エスキス】	継続的に研究を行いながら、エスキスを進めていく。			【持参物】筆記用具・ノート(エスキス用の紙)・PC(研究用)、コンバックス		
10	【作図】	手書き作図を行う。			【持参物】筆記用具・ノート(エスキス用の紙)・PC(研究用)・本番用紙・作図に必要なと各々が判断したもの		

## 25年度\_前期\_TSD\_インテリアデザイン\_3年\_住環境デザイン\_鳥居信貴.xlsx

11	【作図】	手書き作図を行う。			【持参物】筆記用具・ノート(エスキス用の紙)・PC(研究用)・本番用紙・作図に必要なと各々が判断したもの		
12	【作図】	手書き作図を行う。			【持参物】筆記用具・ノート(エスキス用の紙)・PC(研究用)・本番用紙・作図に必要なと各々が判断したもの		
13	【作図】	手書き作図を行う。			【持参物】筆記用具・ノート(エスキス用の紙)・PC(研究用)・本番用紙・作図に必要なと各々が判断したもの		
14	【作図】	手書き作図を行う。			【持参物】筆記用具・ノート(エスキス用の紙)・PC(研究用)・本番用紙・作図に必要なと各々が判断したもの		
15	【プレゼン・講評】	各自作品発表を行い、講師及び生徒同士での講評を行う。			【持参物】筆記用具・プレゼン資料		